

府中市自然環境調査（平成26年度）報告書

府中市自然環境調査員会議

目次

1. 調査の概要
2. 調査方法
3. 調査結果
4. 自然環境学習会
5. 課題及び考察

資料

- (1) 府中市自然環境調査員会議委員名簿
- (2) 自然環境調査実施記録
- (3) 自然環境調査結果

1. 調査の概要

昨年度の調査から引き続き、調査地点を「武蔵台公園」と定め、毎月1回の定期的な「自然環境調査」を行った。

なお、この調査は本市の自然環境の現状を把握するため、かつて府中市自然調査団が行った『府中市自然調査報告（東京都府中市教育委員会発行）（昭和45年（1970年））』を参考に、平成24年12月に発足した府中市自然環境調査員会議において調査方法を検討した結果である。



2. 調査方法

調査方法について、自然環境調査員が武蔵台公園を試行的に調査した結果、次のように調査方法を定め、調査を行った。

- (1) 調査日を月に1回とした（調査日は基本的には第2週水曜日とした。）。
- (2) 調査時間は午前9時半から11時の約1時間30分とした。
- (3) 調査地域を武蔵台公園とした。

武蔵台公園 住所：府中市武蔵台2丁目2番地

面積：46,835.08㎡

- (4) 調査の対象を草本類、木本類、昆虫類、鳥類とした。
- (5) 調査班を植物班、昆虫班、野鳥班の3班に分け、各グループが公園内を毎回同じコースを歩き、生きものを確認し記録した。
- (6) 記録した種は、次のとおりである。

草本類：蕾（つぼみ）、花、実について記録した。

木本類：蕾（つぼみ）、花、実について記録した。

昆虫類：卵囊（らんのお）、幼態、成虫について記録した。また、種名の判別がつかないものについては掲載しなかった。

鳥類：目視および鳴き声により確認したものについて記録した。

- (7) 現地調査後、自然環境調査員が集まり、調査した内容を確認した。
- (8) 各グループのリーダーが調査結果を取りまとめ、市へ報告した。
- (9) 外来生物、植栽されたと思われるものについては注釈をつけた。



調査区域（武蔵台公園）

3. 調査結果

現地調査の結果、414種類の生物を確認した。

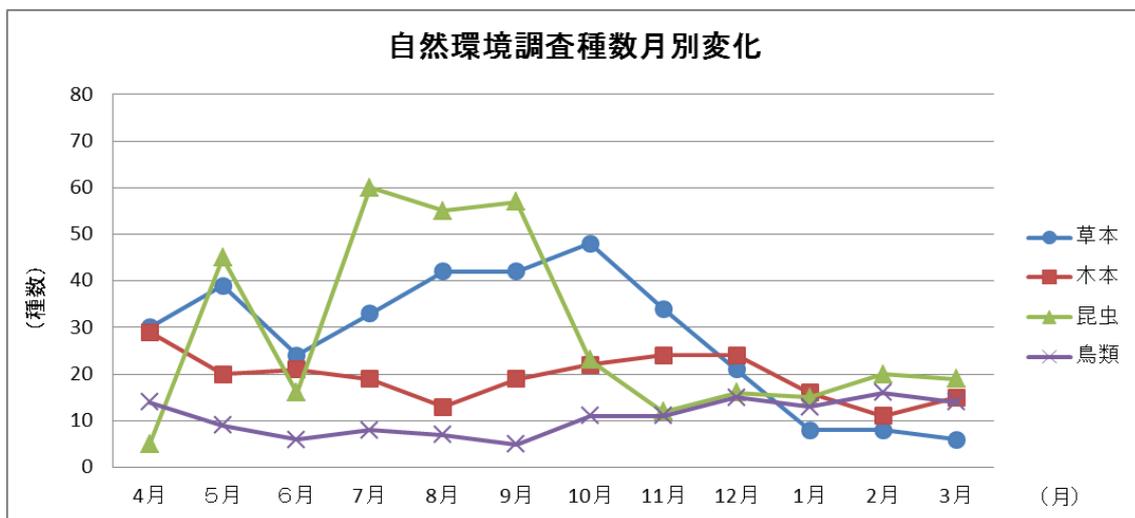
分類	種数	外来種	植栽と思われるもの	合計
草本類	141		15	141
木本類	72		11	72
昆虫類	174	2	—	174
鳥類	27	2	—	27
合計	414	4	26	414

平成25年度調査及び「府中市自然調査報告（1970年）」にも確認されている種数は次のとおり。

ただし、「府中市自然調査報告（1970年）」草本類、木本類、鳥類は、府中市内全域で確認された種数、昆虫類は、武蔵台地域で確認された種数を掲載。

分類	平成26年度	平成25年度	府中市自然調査報告
草本類	141	101	111
木本類	72	55	48
昆虫類	174	94	43
鳥類	27	21	21
合計	414	271	223

平成26年度自然環境調査の月別の種数変化を示す。



(1) 草本類

草本類は、141種を確認した。

今年度新たに40種を確認した。逆に平成25年度には確認したものの、今年度は確認できなかったものは37種あった。

昨年度同様、春にはキク科、夏から秋にはイネ科のものがよく確認できた。

春の調査では、キバナイカリソウ、ユキワリイチゲ、タマノカンアオイ、シヤガ、ウラシマソウ、シュンラン、ムサシアブミなどが見られた。

11月の調査ではチョウセンガリヤスが自生していることが確認できた。今後見守りが必要である。

(2) 木本類

木本類は、72種を確認した。

今年度新たに15種を確認した。逆に平成25年度には確認したものの、今年度は確認できなかったものは14種あった。

今年度も、雑木林の特徴であるコナラやクヌギ、崖線に植生するケヤキ、シラカシ、フタリシズカ、クマノミズキなどを確認したが、外来種であるトウネズミモチも植生を広げており、対策を考える必要がある。

春には双眼鏡を用いて、ニガキの花を見ることが出来た。

生物多様性の観点から見ても、武蔵台公園は貴重な場所なので、保全方法について考えていく必要がある。

(3) 昆虫類

昆虫類は、12目・73科・174種を確認した。

今年度、新たに80種を確認した。

8月の調査では、アサギマダラを初めて確認。今年は各地で発生個体数が多い情報があったが、8月の時点で確認できたのは驚きであった。

昨年に引き続き外来種・アカボシゴマダラを確認したが、発生個体数は昨年より多い。また、カナブン類の増加も顕著であった。猛暑の影響によるものか。

冬場は、今年は各地で確認個体数が少ないことが報告されていたが、本調査においても、同様の結果となった。

(4) 鳥類

鳥類は、27種、うち外来種2種を確認した。

昨年同様、キジバト、ハシブトガラス、シジュウカラ、ヒヨドリ、メジロ、コゲラは一年を通してよく見ることができた。

4月の調査では、昨年は確認できなかったツバメを確認することができた。

5月にはツミの営巣を見ることができたが、6月の調査時点では営巣していないようだった。

12月には、ルリビタキ（♀）を初めて観察できた。

4. 自然環境学習会

生物多様性の普及啓発のため、東京農工大学より講師を招き、一般市民を対象とした自然環境学習会を開催した。自然環境調査員には、市民への普及啓発の役割も期待されていることから、このような学習会を開催することで調査員自身の知識向上を図ることもでき、非常に有用といえる。

また、今後も東京農工大学と協力・連携を進めるとともに、吉川正人氏には、本調査の技術的な助言もいただき、調査の参考としていく予定である。

■自然環境学習会「植物群落の見かた」

- (1) 日 時 平成27年2月19日(木) 午後5時30分～午後7時
- (2) 場 所 府中駅北第2庁舎3階第2会議室
- (3) 講 師 東京農工大学大学院 准教授 吉川正人氏
- (4) 参加者 府中市自然環境調査員 14名 ほか32名

■自然環境学習会「動物の視点から見た府中の自然の過去、現在、未来」

- (1) 日 時 平成27年3月12日(木) 午後5時30分～午後7時
- (2) 場 所 府中駅北第2庁舎3階第2会議室
- (3) 講 師 東京農工大学大学院 講師 小池伸介氏
- (4) 参加者 府中市自然環境調査員 9名 ほか26名



5. 課題及び考察

平成25年度より引き続き行われた自然環境調査では、月1回の限られた調査であることや、調査日の気象条件などによって、確認できる生きものの種数も変動する可能性があるなど課題は挙げられるものの、継続的な調査を行うことにより、昨年度からの観察種数の変化や、年間を通しての自然の移り変わりを観察できるなど、一定の成果は上げられている。今後も調査結果を積み重ねることで、より大きな自然環境の変化が見えてくると考えられる。

一方で、種数の変化だけではなく、希少種の絞り込みによる詳細な調査の必要性や、これらの保全方法などの課題も出てきており、委員相互の意見を交わした上で、今後の検討課題としたい。

また、調査結果の市民への周知・活用など、市民との協働も課題の一つである。本調査に一般市民にも参加してもらう仕組みや関係機関と連携・協力する仕組みを考える必要もある。府中野鳥クラブや浅間山自然保護会、府中かんきょう市民の会などの市民団体との連携や、東京農工大学、西武・武蔵野パートナーズ（市内の都立公園における指定管理者）などの関係機関と情報交換することで、本市の自然環境の把握に繋がることが期待される。

また、自然環境学習会でも講師を務めていただいている、東京農工大学准教授吉川正人氏には、今後とも継続的に本調査の技術的な助言をいただく予定である。

平成27年1月に策定された「府中市生物多様性地域戦略」では、生物多様性の保全とその恵みの持続可能な利用の促進を図り、本市の生物多様性の保全に向けた3つの方針として、①普及啓発、②生息空間の保全、③市民との協働を掲げているが、本調査はまさに府中市の生物多様性の保全に繋がるものと言える。限られた時間での調査ではあるが、より充実したものにするためにも、今後とも個々の調査員の知識を深め、能力向上を図りながら、多くの経験を積む機会を創り、調査を続けて行くこととする。

資 料

(1) 府中市自然環境調査員会議委員名簿

	役職	名前	担当
1	副会長	新井 孝次朗	植物班
2		石川 助成	植物班
3		糸井 勝子	植物班
4		祝 璃葉 (H26.12.1付就任)	野鳥班
5	会長	大澤 邦男	野鳥班 (リーダー)
6		椛島 弘通	昆虫班
7		小泉 共司	昆虫班 (リーダー)
8		後藤 晶江	植物班
9		佐川 タマ江	植物班
10		内藤 林三	植物班
11		野口 道夫	植物班 (リーダー)
12		野口 佑子	昆虫班
13		橋本 和司	野鳥班
14		森田 敏雄	昆虫班
15		山田 義夫	植物班

(2) 自然環境調査実施記録

調査日	天候	調査員数
平成26年 4月 9日 (水)	晴	12名
5月 7日 (水)	晴	13名
6月11日 (水)	雨	11名
7月10日 (水)	雨	13名
8月 6日 (水)	晴	14名
9月10日 (水)	晴	13名
10月15日 (水)	雨	13名
11月12日 (水)	曇	11名
12月17日 (水)	雨	15名
平成27年 1月14日 (水)	晴	14名
2月10日 (火)	晴	12名
3月11日 (水)	晴	12名
合計	—	延153名



(3) 自然環境調査結果

調 査 日	草本類	木本類	昆虫類	鳥 類	合 計
4月 9日 (水)	30	29	5 (0)	14 (1)	78
5月 7日 (水)	39	20	45 (1)	9 (0)	113
6月11日 (水)	24	21	16 (0)	6 (1)	67
7月 9日 (水)	33	19	60 (1)	8 (0)	120
8月 6日 (水)	42	13	56 (1)	7 (0)	118
9月10日 (水)	42	19	57 (0)	5 (0)	123
10月15日 (水)	48	22	23 (0)	11 (1)	104
11月12日 (水)	34	24	12 (0)	11 (1)	81
12月17日 (水)	21	24	16 (1)	15 (1)	76
1月14日 (水)	8	16	15 (1)	13 (2)	52
2月10日 (火)	8	11	20 (1)	16 (2)	55
3月11日 (水)	6	15	19 (0)	14 (2)	54
合 計	141	72	174 (2)	27 (2)	414

※下段は草本類にあつては植栽と思われる種数。()内は外来種の数。

下段は確認した数から再掲

(4) 自然環境調査結果 草本①

*印は植栽されたと思われる植物 注) □: スミレは閉鎖果 #印はムカゴ

	調査月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
	調査日	天気	9日晴	7日晴	11日曇り	9日曇り	6日晴	10日晴	15日晴	12日曇	17日晴	14日晴	12日晴	11日晴			
結果、開花状況 蕾=○、開花=◎、結実r=◇			蕾	花	実	蕾	花	実	蕾	花	実	蕾	花	実	蕾	花	実
イラクサ科	ヤブマオ																
タデ科	アレチギシギシ				○◎												
タデ科	イヌタデ								○◎								
タデ科	ハナタデ							○◎	○◎		◇○◎						
タデ科	ミズヒキ					○◎	○◎	○◎	○◎	◇	◇	◇					
ヤマゴボウ科	ヨウシュヤマゴボウ				○◎◇	○◎◇	○◎◇		◇		◇						
スベリヒユ科	ハゼラン																
ナデシコ科	ウシハコベ																
ナデシコ科	コハコベ		○◎														
ナデシコ科	ハコベ			○◎◇													
ヒユ科	イノコズチ(ヒカゲイノコズチ)							◎		◇		◇					
ヒユ科	ヒナタイノコズチ									◇	◇					◇	
キンポウゲ科	オダマキの仲間					◇											
キンポウゲ科	キバナイカリソウ	*	○◎														
キンポウゲ科	セツブンソウ	*												○◎			◇
キンポウゲ科	セリハヒエンソウ			○◎													
キンポウゲ科	センニンソウ																
キンポウゲ科	ニリンソウ	*	○◎														
キンポウゲ科	ミスミソウ	*															
キンポウゲ科	ユキワリイチゲ	*	◇											○◎		○◎	
ドクダミ科	ドクダミ				○◎	◎◇		◇	◇								
セリョウ科	ヒトリシズカ		○	○													
セリョウ科	フタリシズカ			○◎	◇												
ウマノスズクサ科	カンアオイの仲間	*	○◎														
ウマノスズクサ科	タマノカンアオイ	*	◎	◎													
オトギリソウ科	オトギリソウ					○											
ケシ科	タケニグサ			○	○◎◇		◇										
ケシ科	ナガミヒナゲシ																
ケシ科	ムラサキケマン	○◎		◎◇													
アブラナ科	イヌガラシ			○◎◇	◇	○◎◇											
アブラナ科	ショカツサイ	○◎	○◎◇														
バラ科	キジムシロ	○◎															
バラ科	キンミズヒキ					○	○	◇	○◎◇		◇	◇					
バラ科	ダイコンソウ						◎◇			◎◇							
バラ科	ヘビイチゴ			○◎◇	◇												
バラ科	ナワシロイチゴ			○◎													
バラ科	ヤブヘビイチゴ	○◎															
マメ科	アレチヌスビトハギ							○◎									
マメ科	ヌスビトハギ						○◎	○◎	○◎◇	○◎◇		◇					
マメ科	フジカンゾウ					○◎	○◎◇	○◎◇		◇	◇						
カタバミ科	イモカタバミ			○◎	○◎												
カタバミ科	オッタチカタバミ																
カタバミ科	ムラサキカタバミ																
フウロソウ科	アメリカフウロ			○◎	◎◇												
ブドウ科	ノブドウ				○												
ブドウ科	ヤブガラシ				○	○◎											
シナノキ科	カラスノゴマ									◇							
スミレ科	タチツボスミレ	○◎		◇			□	◇									○◎
スミレ科	オドラータ	*	◎◇														
シュウカイドウ科	シュウカイドウ																
ウリ科	アマチャヅル							○◎	○◎		◇						
ウリ科	カラスウリ											◇					
アカバナ科	オオマツヨイグサ					○◎		◎									
アカバナ科	ミズタマソウ							○◎◇	◎◇								
アカバナ科	ユウゲショウ				○◎◇	○◎											
セリ科	オヤブジラミ																
セリ科	ミツバ						◇										
セリ科	ヤブジラミ				◇												
セリ科	ヤブニンジン	○◎		◇													

(4) 自然環境調査結果 草本②

		調査月														
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
結実、開花状況 蕾=○、開花=◎、結実=◇		蕾	花	実	蕾	花	実	蕾	花	実	蕾	花	実	蕾	花	実
キョウチクトウ科	ツルニチニチソウ *	○◎	◎													○
アカネ科	ヘクソカズラ						○◎◇	○◎◇		◇						
アカネ科	ヤエムグラ	○◎		◇												
ムラサキ科	キュウリグサ		○◎													
シソ科	アキノタムラソウ				○◎	○◎◇	○◎◇	◎◇		◇						
シソ科	イヌコウジュ						○◎◇	◎◇		◇						
シソ科	キラシソウ															
シソ科	シソ							◇	◇	◇						
シソ科	ジュウニヒトエ															
シソ科	ヒメオドリコソウ	○◎	◎													
シソ科	ヒメジソ						○◎◇	○◎◇								
ナス科	アメリカイヌホオズキ						○◎									
ナス科	イヌホオズキ								○◎◇							
ナス科	コナスビ							◇								
ナス科	ヒヨドリジョウゴ			○◎	○◎	○◎◇	○◎	○◎◇		◇	◇		◇			
ゴマノハグサ科	トキワハゼ															
ゴマノハグサ科	ピロードモウズイカ															
キツネノマゴ科	キツネノマゴ						○◎	○◎		◇	◎◇					
ハエドクソウ科	ハエドクソウ				○◎	○◎◇				◇						
オオバコ科	オオバコ		○◎		◇	○◎◇		◎◇		◇	◇					
スイカズラ科	スイカズラ									◇						
オミナエシ科	オトコエシ						○◎	○◎		◇	◇		◇		◇	
キク科	アイノコタンポポ	○◎														
キク科	アイノコセンダングサ															
キク科	アキノゲシ															
キク科	アメリカオニアザミ			○	○◎											
キク科	アメリカセンダングサ								◎							
キク科	ウラジロチチヨグサ		○◎	○◎			◇									
キク科	エゾタンポポ															
キク科	オオアレチノギク						○◎	○◎◇		◇						
キク科	オニタビラコ		○◎	○◎◇												
キク科	オニノゲシ		○◎													
キク科	ガンクビソウ				○	○◎										
キク科	カントウヨメナ															
キク科	コセンダングサ				○◎				○◎	○◎						
キク科	コヤブタバコ						○◎		◇	◇						
キク科	サジガンクビソウ				○	◎◇		◇								
キク科	シロヨメナ								○◎	○◎						
キク科	シラヤマギク							○◎	○◎	◎◇						
キク科	セイタカアワダチソウ								○◎	◎◇		◇		◇		
キク科	セイヨウタンポポ		◎◇													
キク科	タチチチヨグサ															
キク科	ダンドボロギク							○								
キク科	チチヨグサモドキ															
キク科	ニガナ		○◎													
キク科	ノゲシ	○	○◎	○◎	◎											
キク科	ノブキ						○◎	○◎	◎◇	○◎◇						
キク科	ハキダメギク						○◎	○◎								
キク科	ハハコグサ		○◎													
キク科	ハルジオン	○	○◎													
キク科	ヒメジョオン			○◎												
キク科	ヒヨドリバナ						○◎	○◎		◇	◇		◇			
キク科	ベニバナボロギク						◎◇									
キク科	ヘラバヒメジョオン				○◎											
キク科	ヤクシソウ								○◎	○◎		◇				
キク科	ヤブタバコ							○◎	◎◇							
キク科	ユウガギク															
ユリ科	ウバユリ				○											
ユリ科	オオバギボウシ															
ユリ科	シオデ				◇	◇		◇								
ユリ科	ジャノヒゲ										◇	◇		◇		
ユリ科	タイワンホトギス *							○◎	○◎		◇	◇				
ユリ科	タカサゴユリ															
ユリ科	タチシオデ															
ユリ科	ニラ															
ユリ科	ノカンゾウ						◎									

(4) 自然環境調査結果 草本③

		調査月												3月					
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	3月	3月				
結果、開花状況 蕾=○、開花=◎、結実=◇		蕾	花	実	蕾	花	実	蕾	花	実	蕾	花	実	蕾	花	実	蕾	花	実
ユリ科	ハナニラ	○◎																	
ユリ科	ホトトギス *												○◎						
ユリ科	ホウチャクソウ	○	◎																
ユリ科	ヤブラン		◇				○◎	○◎	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	
ユリ科	ヤマユリ			○	○◎		◇	◇	◇	◇									
ヒガンバナ科	キツネノカミソリ						◎◇												
ヒガンバナ科	スノーフレーク *	○◎																	
ヤマノイモ科	オニドコロ				○◎		◇	◇	◇	◇	◇								
ヤマノイモ科	ヤマノイモ					○◎			#										
アヤメ科	シャガ *	○◎	○◎																
アヤメ科	ヒメヒオウギズイセン *																		
イグサ科	クサイ		○◎																
ツユクサ科	ツユクサ				◎	◎	○◎	◎◇											
ツユクサ科	ノハカタカラクサ																		
ツユクサ科	ヤブミョウガ				○◎	○◎	◎◇	○◎◇	◇	◇	◇								
イネ科	アオカモジグサ				◇														
イネ科	アキノエノコログサ																		
イネ科	イヌビエ																		
イネ科	イヌムギ		◇	◇															
イネ科	エノコログサ																		
イネ科	オオクサキビ																		
イネ科	オヒシバ							◇	◇										
イネ科	カゼクサ							○◎◇	◇		◇								
イネ科	カモガヤ																		
イネ科	コチヂミザサ						◇												
イネ科	コメヒシバ																		
イネ科	ササガヤ								◇										
イネ科	ササクサ									◇									
イネ科	シマスズメノヒエ																		
イネ科	ススキ									○◎◇			◇						
イネ科	チヂミザサ												◇						
イネ科	チヨウセンガリヤス										◇								
イネ科	ナガハグサ		○◎																
イネ科	ヌカキビ									◇									
イネ科	ノガリヤス								◇		◇								
イネ科	ミソイチゴツナギ			◇															
イネ科	メヒシバ						○◎	◇	◇										
イネ科	メリケンカルカヤ											◇							
サトイモ科	ウランマソウ *	◎																	
サトイモ科	ミミガタテンナンショウ	◎																	
サトイモ科	ムサシアブミ *	◎	◎		◇	◇													
カヤツリグサ科	ナキリスゲ							○◎	◇	◇	◇						◇		
カヤツリグサ科	マスクサ		○◎																
カヤツリグサ科	スゲの仲間																		
カヤツリグサ科	ヒメカンスゲ	○◎																	○◎
ラン科	オオバトシボソウ				○◎														
ラン科	キンラン		○◎				◇				◇								
ラン科	ギンラン		○◎				◇												
ラン科	ササバギンラン		○◎																
ラン科	シュンラン	◎																	○◎
ラン科	サイハイラン *																		
ラン科	シラン *																		
ラン科	マヤラン				○◎		○◎	○◎											
各月各状態数		22	24	3	27	32	12	15	11	12	25	23	10	25	30	22	27	30	23
各月観察種数		30	39		24	33	42	42	48	34	21	8	8	8	2	6	4	4	2
各月新規観察種数		9	9		4	4	2	5	4	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0
14年度観察種数		141																	
14年度新規観察種数		40																	
13年度観察、14年度未観察数		37																	

(4) 自然環境調査結果 昆虫類①

目	科	種名	確認・月回数		確認・総回数	
			2013年度	2014年度	2013年度	2014年度
トンボ目	オニヤンマ科	オニヤンマ	0	1	0	1
	トンボ科	アキアカネ	2	1	3	2
		シオカラトンボ	3	3	3	3
		ナツアカネ	1	2	1	2
ハサミムシ目	ハサミムシ科	コヒゲジロハサミムシ	1	0	1	0
		ハサミムシ	0	3	0	3
バッタ目	バッタ科	オンブバッタ	2	0	5	0
		ショウリョウバッタ	3	1	5	1
		ツチイナゴ	0	1	0	1
	キリギリス科	ウマオイ	0	1	0	1
		ササキリ	3	2	3	3
		セスジツユムシ	0	1	0	1
		ツユムシ	0	1	0	2
		ヤブキリ	0	2	0	2
	コオロギ科	エンマコオロギ	2	3	2	4
		カネタタキ	2	2	2	2
		マダラスズ	1	0	1	0
ナナフシ目	ナナフシ科	ナナフシ	0	2	0	2
カマキリ目	カマキリムシ科	オオカマキリ	8	8	9	12
		コカマキリ	1	2	1	2
		チョウセンカマキリ	2	3	2	3
		ハラビロカマキリ	1	0	1	0
ゴキブリ目	ゴキブリ科	チャバネゴキブリ	0	1	0	1
		ヤマトゴキブリ	0	5	0	8
カメムシ目	ツチカメムシ科	ミツボシツチカメムシ	0	1	0	1
	マルカメムシ科	マルカメムシ	2	2	2	2
	カメムシ科	アオクサカメムシ	0	1	0	1
		ウシカメムシ	1	0	1	0
		キマダラカメムシ (外)	1	0	1	0
		クサギカメムシ	0	1	0	1
		シロヘリカメムシ	0	1	0	1
		チャバネアオカメムシ	3	0	3	0
		ブチヒゲカメムシ	1	0	1	0
	クヌギカメムシ科	クヌギカメムシ	4	4	4	6
	ツノカメムシ科	エサキモンツキカメムシ	1	0	1	0
		ハサミツノカメムシ	0	1	0	1
	キンカメムシ科	アカスジキンカメムシ	0	2	0	2
	ヘリカメムシ科	キバラヘリカメムシ	2	0	2	0
		ハリカメムシ	0	3	0	3
		ホソハリカメムシ	4	3	4	3
		マツヘリカメムシ (外)	1	0	1	0
	ホソヘリカメムシ科	ホソヘリカメムシ	3	2	3	3
	ヒラタカメムシ科	ノゴギリヒラタカメムシ	2	3	2	3
	カスミカメムシ科	ケブカキヘリナガカスミカメ	1	1	1	1
	コバネナガカメムシ科	ヒメコバネナガカメムシ	1	1	1	1
	サシガメ科	アカスジサシガメ	0	2	0	2
		シマサシガメ	0	1	0	1
		ヨコズナサシガメ	1	1	1	1
		ヤニサシガメ	2	6	3	9
	セミ科	アブラゼミ	3	2	9	5
		ツクツクボウシ	3	2	3	2

(4) 自然環境調査結果 昆虫類②

目	科	種名	確認・月回数		確認・総回数	
			2013年度	2014年度	2013年度	2014年度
カメムシ目	セミ科	ニイニゼミ	2	1	2	1
		ヒグラシ	1	0	1	0
		ミンミンゼミ	3	2	3	4
	アワフキムシ科	シロオビアワフキ	1	2	2	4
	ミミズク科	コミミズク	0	1	0	1
	オオヨコバイ科	オオヨコバイ	8	3	15	7
		ツマグロオオヨコバイ	7	5	20	8
	ハゴロモ科	アミガサハゴロモ	2	0	2	0
		スケバハゴロモ	2	0	2	0
	アオバハゴロモ科	アオバハゴロモ	3	4	3	7
	アブラムシ科	キスゲフクレアブラムシ	1	0	1	0
		ヘクソカズラヒゲナガアブラムシ	1	0	1	0
	ハネナガウンカ科	アカハネナガウンカ	1	0	1	0
ワタフキカイガラムシ科	ハワードワラジカイガラムシ	0	1	0	3	
アミメカゲロウ目	クサカゲロウ科	クサカゲロウ	8	1	9	0
	ウスバカゲロウ科	ウスバカゲロウ	0	1	0	1
チョウ目	セセリチョウ科	イチモンジセセリ	3	1	5	2
		ダイミョウセセリ	1	1	2	1
	アゲハチョウ科	アオスジアゲハ	3	1	6	1
		アゲハチョウ	1	2	1	1
		カラスアゲハ	1	0	1	0
		キアゲハ	5	0	10	0
		クロアゲハ	5	4	11	8
		ジャコウアゲハ	4	0	5	0
		ナガサキアゲハ (南)	1	0	1	0
	シロチョウ科	キタキチョウ	6	4	12	6
		スジグロチョウ	6	4	11	4
		ツマキチョウ	2	1	2	1
		モンシロチョウ	5	0	5	0
		モンキチョウ	0	2	0	2
	シジミチョウ科	アカシジミ	1	0	1	0
		ウラギンシジミ	1	1	1	1
		ウラナミアカシジミ	2	0	2	0
		ウラナミシジミ (南)	3	0	3	0
		ベニシジミ	5	2	10	2
		ミズイロオナガシジミ	1	0	1	0
		ムラサキシジミ (南)	2	3	2	3
		ヤマトシジミ	9	5	15	8
	ルリシジミ	3	2	3	2	
	マダラチョウ科	アサギマダラ	0	1	0	1
	タテハチョウ科	アカボシゴマダラ (外)	5	3	9	8
		キタテハ	6	4	11	5
		ゴマダラチョウ	3	3	3	3
		コムスジ	5	2	9	3
		ツマグロヒョウモン (南)	3	0	4	0
		ルリタテハ	4	3	4	3
	ジャノメチョウ科	クロヒカゲ	2	2	2	2
		コヒカゲチョウ	1	0	1	0
		サトキマダラヒカゲ	3	5	3	12
		ヒカゲチョウ	2	4	3	9
		ヒメウラナミジャノメ	4	1	4	1
	テングチョウ科	テングチョウ	2	2	2	2
	メイガ科	ウスアカネマダラメイガ	0	1	0	1
	トリバガ科	ナカノホソトリバ	0	1	0	1
	カイコガ科	クワコ	0	1	0	1
	ツトガ科	オオキノメイガ	1	0	1	0

(4) 自然環境調査結果 昆虫類③

目	科	種名	確認・月回数		確認・総回数		
			2013年度	2014年度	2013年度	2014年度	
チョウ目	スカシバガ科	モモトスカシバ	1	0	1	0	
	ミノガ科	オオミノガ	3	4	3	4	
	マダラガ科	シロシタホタルガ	2	1	6	1	
		ミノウスバ	0	1	0	1	
	シャクガ科	オオウスモンキヒメシャク	0	1	0	1	
		オオバナナミガタエダシャク	0	1	0	1	
		オカモトゲエダシャク	0	2	0	2	
		イチモンジフユナミシャク	0	1	0	1	
		ウスオビフユエダシャク	1	0	3	0	
		ウスキツバメエダシャク	1	0	1	0	
		ウスキトリガリヒメシャク	0	1	0	1	
		ウスバフユシャク	1	1	1	1	
		ウスベミスジエダシャク	0	1	0	1	
		ウスモンオオヒロヒメシャク	1	0	1	0	
		クロオビフユナミシャク	2	1	2	1	
		クロスジフユエダシャク	2	1	2	1	
		クロバネフユシャク	0	1	0	1	
		シロトゲエダシャク	1	1	1	1	
		チャバネフユエダシャク	0	1	0	1	
		トギレフユエダシャク	1	0	1	0	
		ナミスジフユシャク	0	1	0	1	
		ヒメアオシャク	1	0	1	0	
		ヤガ科	オオウンモクチバ	1	0	1	0
			キノカワガ	1	0	1	0
	クロクモヤガ		1	0	1	0	
	クロキシタアツバ		0	1	0	1	
	コシロシタバ		3	3	4	6	
	シラナミアツバ		0	1	0	1	
	タイワンキシタアツバ		0	1	0	1	
	ナシケシモン		0	1	0	1	
	ニシキキンウワバ		0	1	0	1	
	ヒメネジロコヤガ		1	0	1	0	
	フクラスズメ	0	1	0	1		
ヒトリガ科	ハガタキコケガ	0	1	0	1		
ドクガ科	マイマイガ	1	3	2	8		
スズメガ科	オオスカシバ	1	0	1	0		
ヒロズコガ科	マダラマルハヒロコズコガ	2	0	2	0		
マルハキバガ科	シロスジカバマルハキバガ	1	0	1	0		
ハエ目	カ科	ヒトスジシマカ	0	1	0	2	
	ガガンボ科	キイロホソガガンボ	1	1	1	1	
		キリウジガガンボ	0	1	0	1	
	ケバエ科	ハグロケバエ	1	0	1	0	
	ムシシキアブ科	サキグロムシヒキ	1	1	1	1	
		シオヤアブ	3	4	7	9	
		マガリケムシキ	0	1	0	1	
	ツリアブ科	クロバネツリアブ	2	1	2	1	
	ハナアブ科	アシトハナアブ	1	0	1	0	
		オオハナアブ	0	1	0	1	
		ヒメヒラタアブ	11	4	28	5	
		ホソヒメヒラタアブ	9	9	18	16	
	アシナガバエ科	マダラホソアシナガバエ	0	2	0	2	
	アシナガヤセバエ科	ホソアシナガヤセバエ	0	2	0	4	
	ベッコウバエ科	ネジクロミバエ	1	0	1	0	
		ベッコウバエ	0	2	0	3	
	ハチ目	ハバチ科	コシマハバチ	1	0	1	0

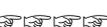
(4) 自然環境調査結果 昆虫類④

目	科	種名	確認・月回数		確認・総回数	
			2013年度	2014年度	2013年度	2014年度
ハチ目	コマエバチ科	サムライコマバチ類	2	0	2	0
	アリバチ科	トゲムネアリバチ	0	1	0	1
	アナバチ科	クロアゲバチ	0	1	0	1
	アリ科	クロオオアリ	1	0	1	0
	スズメバチ科	オオスズメバチ	1	5	1	8
		キロスズメバチ	4	2	5	2
		コガタスズメバチ	4	0	4	0
		セグロアシナガバチ	0	1	0	1
		ムモンアシナガバチ	0	1	0	2
		モンズズメバチ	0	1	0	1
	ミツバチ科	クマバチ	4	1	4	2
		セイヨウミツバチ	6	1	7	2
		ニホンミツバチ	5	4	6	5
コウチュウ目	ハンミョウ科	トウキョウヒメハンミョウ	3	2	5	3
	オサムシ科	オオホソクビゴミムシ	0	1	0	1
		トックリゴミムシ	0	1	0	1
		ハラアカモリヒラタゴミムシ	0	1	0	1
		マルガタナガゴミムシ	0	2	0	2
	シテムシ科	オオヒラタシテムシ	2	3	4	4
	ケシキシスイムシ科	ヨツボシケシキシ	3	0	3	0
	テントウムシ科	キロテントウ	5	4	8	4
		テントウムシ	2	8	2	15
		ナナホシテントウ	9	3	14	3
		ニジュウホシテントウ	1	0	1	0
		ヒメカメノコテントウ	2	3	2	4
		ムーアシシロホシテントウ	0	1	0	1
	テントウムシダマシ科	セダカテントウムシダマシ	1	0	1	0
	クチキムシ科	オオクチキムシ	1	0	1	0
		クチキムシ	1	0	1	0
	タマムシ科	ウメチビタマムシ	1	1	1	1
		タマムシ	0	2	0	2
	ミジンムシ科	マルガタミジンムシ	0	1	0	1
	コメツキムシ科	クロクシコメツキ	0	1	0	1
		サビキコリ	2	4	3	6
		トラフコメツキ	0	1	0	1
		ホソハナコメツキ	1	0	1	0
		ヒメクロコメツキ	1	0	1	0
		ヒメコメツキ	0	1	0	1
	ゴミムシダマシ科	キマワリ	1	2	1	3
		ヒメマルクビゴミムシダマシ	2	0	2	0
		ナカニジゴミムシダマシ	0	1	0	1
	カミキリムシ科	カタジロゴマフカミキリ	0	1	0	1
		キボシカミキリ	0	1	0	2
		クワカミキリ	0	1	0	1
		ゴマダラカミキリ	0	1	0	1
		ノギリカマキリ	1	0	1	0
ヒメヒゲナガカミキリ		1	0	1	0	
ハムシ科	アトボシハムシ	0	1	0	1	
	イチモンジカメノコハムシ	0	1	0	1	
	ウリハムシ	6	4	15	7	
	オオアカマルノミハムシ	1	0	1	0	
	クロウリハムシ	5	6	10	6	
	クロボシツツハムシ	0	1	0	1	
	サンゴジュハムシ	1	1	2	1	
	ヒメジンガサハムシ	2	2	2	2	

(4) 自然環境調査結果 昆虫類⑤

目	科	種名	確認・月回数		確認・総回数	
			2013年度	2014年度	2013年度	2014年度
コウチュウ目	ハムシ科	ルリハムシ	0	1	0	1
	オトシブミ科	ヒメクロオトシブミ	1	2	2	2
	ゾウムシ科	カシワクチフトゾウムシ	2	2	4	3
		クリシキゾウムシ	0	1	0	1
		スグリゾウムシ	0	1	0	1
	センチコガネムシ科	センチコガネ	1	0	1	0
	コガネムシ科	アオドウガネ	0	3	0	3
		カナブン	3	3	7	5
		カブトムシ	3	1	3	2
		クロカナブン	1	2	1	2
		コアオハナムグリ	0	1	0	2
		コブマルエンマコガネ	0	1	0	1
		コガネムシ	1	0	1	0
		シロテンハナムグリ	3	4	4	6
		ツヤスジコガネ	0	1	0	1
		セマダラコガネ	1	2	1	2
		ヒゲトハナムグリ	0	1	0	1
		ヒラタハナムグリ	1	0	1	0
		マメコガネ	4	3	8	5
		マルエンマコガネ	0	1	0	1
	クワガタムシ科	コクワガタ	2	1	2	1
		ノギリクワガタ	1	2	1	2
		ヒラタクワガタ	0	1	0	1
		240				
12目	88科	240種				

2013年度の報告では、【目】の呼称に対して、旧来の呼称を一部使用しておりましたが、2014年度では新しい呼称に統一しました。

- ❖ 蜻蛉目  トンボ目
- ❖ 直翅目  バッタ目
- ❖ 蟻螂目  カマキリ目
- ❖ 半翅目  カメムシ目
- ❖ 鱗翅目  チョウ目
- ❖ 膜翅目  ハチ目
- ❖ 革翅目  ハサミムシ目
- ❖ 竹節目  ナナフシ目
- ❖ 網翅目  ゴキブリ目
- ❖ 脈翅目  アミメカゲロウ目
- ❖ 双翅目  ハエ目
- ❖ 鞘翅目  コウチュウ目

(4) 自然環境調査結果 昆虫類⑥

【注】 A欄:2014年度・確認月数 B欄:1970年・報告書に記載 C欄:1983年・昆虫ガイドブックに記載 D欄:2014年度・新規確認種

目	No	科	種名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	A	B	C	D
				8日(水)	7日(水)	11日(水)	8日(水)	6日(水)	16日(水)	15日(水)	12日(水)	17日(水)	15日(水)	10日(水)	11日(水)				
トンボ目	001	オニヤンマ科	オニヤンマ					○								1	○	○	
	002	トンボ科	アキアカネ						○							1	○	○	
	003		シオカラトンボ				○♂	○♂	○♂							3	○	○	
	004		ナツアカネ				○	○								2	○	○	
ハサミムシ目	005	ハサミムシ科	ハサミムシ									○	○	○	3	○	○	○	
バッタ目	006	バッタ科	シヨウリヨウバッタ						○							1	○	○	○
	007		ツチイナゴ						○							1	○	○	○
	008	キリギリス科	ウマオイ						○							1	○	○	○
	009		サザキリ							○	○					2	○	○	○
	010		セズツユムシ							○						1	○	○	○
	011		ツユムシ							○						1	○	○	○
	012		ヤブキリ							○	○					2	○	○	○
	013	コオロギ科	エンマコオロギ				○	○	○							3	○	○	○
	014		カネタキ							○	○					2	○	○	○
	ナナフシ目	015	ナナフシ科	ナナフシ	◆					◆						2			
カマキリ目	016	カマキリムシ科	オオカマキリ				◆	◆	○	▲	▲		▲	▲	7			○	
	017		コカマキリ				◆	◆							2			○	
	018		チョウセンカマキリ				◆	◆							▲	3			○
ゴキブリ目	019	ゴキブリ科	チャバネゴキブリ								○				1				○
	020		ヤマトゴキブリ		○	○	○	○	○	○					5	○	○	○	○
カメムシ目	021	ツチカメムシ科	ミツボシツチカメムシ		○											1			○
	022	マルカメムシ科	マルカメムシ		○		○									2			○
	023	カメムシ科	アオクサカメムシ		○											1			○
	024		クサキカメムシ												○	1			○
	025		シロヘリカメムシ		○											1			○
	026	クヌギカメムシ科	クヌギカメムシ									▲	▲	▲	▲	4			○
	027	ツノカメムシ科	ハサミツノカメムシ					○								1			○
	028	キンカメムシ科	アカスジキンカメムシ		○											2			○
	029	ヘリカメムシ科	ハリカメムシ								○	○	○			3			○
	030		ホソハリカメムシ		○					○	○					3			○
	031	ホソハリカメムシ科	ホソハリカメムシ		○				○							2	○		○
	032	ヒラタカメムシ科	フコギリヒラタカメムシ								○	○	○			3			○
	033	カスミカメムシ科	ケブカキヘリナガカスミカメ		○											1			○
	034	サシガメ科	アカスジサシガメ		○									◆		2			○
	035	セミ科	シマサシガメ				○									1			○
	036		ヨロズナサシガメ				◆									1			○
	037		ヤニサシガメ							○	○	○	◆	◆	◆	6	○		○
	038		アブラゼミ						○	○							2	○	
	039		ツクツクボウシ						○	○						2	○		○
	040		ニイニイゼミ						○	○						1	○		○
041		ミンミンゼミ						○	○						2	○		○	
042	アワフキムシ科	シロオビアワフキ		○	○										1	○		○	
043	ミズク科	コミズク								◆					2	○		○	
044	オオヨコバイ科	オオヨコバイ		○								○	○		3	○		○	
045		ツマグロオオヨコバイ				○	○	○	○	○					5	○		○	
046	アオハハゴロモ科	アオハハゴロモ					○	○	○	○					4	○		○	
047	ワタフキカイガラムシ科	ハワードワラジカイガラムシ					○	○	○	○					1			○	
アミメカゲロウ目	048	クサカゲロウ科	クサカゲロウ									○			1	○		○	
チョウ目	049	ウスバカゲロウ科	ウスバカゲロウ				○								1	○	○	○	
	050	セセリチョウ科	イチモンジセセリ						○						1	○		○	
	051		ダイミョウセセリ						○						1	○		○	
	052	アゲハチョウ科	アオスジアゲハ						○						1	○		○	
	053		アゲハチョウ			○				○						2	○		○
	054		クロアゲハ			○	○	○	○	○						4	○		○
	055	シロチョウ科	キタキチョウ		○			○	○	○						4	○		○
	056		スジグロチョウ					○	○	○	○					4	○		○
	057		ツマキチョウ		○											1	○		○
	058		モンキチョウ		○	○										2	○		○
	059	シジミチョウ科	ウラギンシジミ										○♀			1			○
	060		ベニシジミ			○									◆	2			○
	061		ムラサキシジミ (南)										○	○	○	3			○
	062		ヤマトシジミ			○				○	○		○			5	○		○
	063		ルリシジミ						○	○	○					2	○		○
	064	マダラチョウ科	アサギマダラ					○							1			○	
	065	タテハチョウ科	アカボシゴマダラ (外)		○		○	○							3			○	
	066		キタテハ				○	○	○						○	4	○		○
	067		ゴマダラチョウ					○	○						◆	3	○		○
	068		コミスジ			○				○						2	○		○
069		ルリタテハ		○			○							○	3	○		○	
070	ジャノメチョウ科	クロヒカゲ			○	○									2	○		○	
071		サトキマダラヒカゲ			○	○	○	○	○	○					5	○		○	
072		ヒカゲチョウ				○	○	○	○	○					4	○		○	
073		ヒメウラナミジャノメ							○						1	○		○	
074		テングチョウ科	テングチョウ					○							○	2			○
075	メイガ科	ウスアカネマダラメイガ					○								1			○	
076	トリハダ科	ナカノボトリバ							○						1			○	
077	カイコガ科	クワコ				◆									1			○	
078	ミノガ科	オオミノガ										▲	▲	▲	3			○	
079	マダラガ科	シロシタホタルガ		◆											1	○	○	○	
080		ミノウスバ									○				1	○	○	○	

(4) 自然環境調査結果 昆虫類⑦

目	No	科	種名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	A	B	C	D
				9日(水)	7日(水)	11日(水)	9日(水)	8日(水)	10日(水)	15日(水)	12日(水)	17日(水)	15日(水)	10日(水)	11日(水)				
ハエ目	081	シャクガ科	オオウスモンキヒメシャク						○							1			○
	082		オオバナナミガタエダシャク						○							1			○
	083		オカモトゲエダシャク		◆											2			○
	084		イチモンジフユナミシャク										○			1			○
	085		ウスキトリガリヒメシャク			○										1			○
	086		ウスバフユシャク										○			1			○
	087		ウスベミスジエダシャク			○										1			○
	088		クロオビフユナミシャク											○		1			○
	089		クロスジフユエダシャク										○			1			○
	090		クロバナフユシャク											○		1			○
091		シロゲエダシャク											○		1			○	
092		チャバナフユエダシャク												○	1			○	
093		ナミスジフユシャク												○	1			○	
094	ヤガ科	クロキシタアツバ		○											1			○	
095		コシロシタバ				○	○	○							3		○	○	
096		シラナミアツバ						○							1			○	
097		タイワンキシタアツバ						○							1			○	
098		ナシケシモン												○	1			○	
099		ニシキケンウバ			○										1			○	
100		フクラスズメ					○								1			○	
101	ヒトリガ科	ハガタキコケガ							○						1			○	
102	ドクガ科	マイマイガ			○	○	○								3			○	
ハエ目	103	カ科	ヒトスジシマカ				○								1			○	
	104	ガガンボ科	キイロホソガガンボ			○									1			○	
	105		キリウジガガンボ						○						1			○	
	106	ムシシキアブ科	サキグルムシヒキ				○								1			○	
	107		シオヤアブ		○	○	○	○	○						5			○	
	108		マギリケムシキ		○										1			○	
	109	ツリアブ科	クロバナツリアブ						○						1			○	
	110	ハナアブ科	オオハナアブ						○						1			○	
	111		ヒメヒラタアブ		○										4			○	
	112		ホソヒメヒラタアブ		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9			○	
113	アシナガバエ科	マダラホソアシナガバエ				○	○							2			○		
114	アシナガヤセバエ科	ホソアシナガヤセバエ				○	○							2			○		
115	ベッコウバエ科	ベッコウバエ							○	○				2			○		
ハチ目	116	アリバチ科	トゲムネアリバチ				○								1			○	
	117	アナバチ科	クロアゲバチ					○							1			○	
	118	スズメバチ科	オオスズメバチ				○	○	○	○					4			○	
	119		キイロスズメバチ					○	○						2			○	
	120		セグロアシナガバチ				○								1			○	
	121		ムモンアシナガバチ				○								1			○	
	122		モンズメバチ					○							1			○	
	123	ミツバチ科	クマバチ		○										1			○	
	124		セイヨウミツバチ		○										1			○	
	125		ニホンミツバチ		○					○	○				4			○	
コウチュウ目	126	ハンミョウ科	トウキョウヒメハンミョウ				○	○							2			○	
	127	オサムシ科	オオホソクビゴミムシ												○	1		○	
	128		トックリゴミムシ				○								1			○	
	129		ハラアカモリヒラタゴミムシ												○	1		○	
	130		マルガタナガゴミムシ	○	○										2			○	
	131	シデムシ科	オオヒラタシデムシ			○	○	○							3			○	
	132	テントウムシ科	キイロテントウ			○		○	○				○		4			○	
	133		テントウムシ			○	○	○	○	○	○				8			○	
	134		ナナホシテントウ			○	○	○							3			○	
	135		ヒメカメノコテントウ								○	○	○		3			○	
	136		ムーアシシロホシテントウ											○	1			○	
	137	タマムシ科	ウメヂビタマムシ											○	1			○	
	138		タマムシ				○	○							2			○	
	139	ミジムシ科	マルガタミジムシ												○	1		○	
	140	コメツクムシ科	クロクシコメツク					○							1			○	
	141		サビキコリ			○		○	○						4			○	
	142		トラフコメツク		○										1			○	
	143		ヒメコメツク		○										1			○	
	144	ゴミムシ科	キマワリ					○							◆	2		○	
	145		ナカニジゴミムシダマシ												○	1		○	
146	カミキリムシ科	カタジロゴマフカミキリ				○								1			○		
147		キボシカミキリ				○								1			○		
148		クワカミキリ				○								1			○		
149	ハムシ科	アトボシハムシ					○							1			○		
150		イチモンジカメノコハムシ					○							1			○		
151		ウリハムシ		○			○	○	○					4			○		
152		クワウリハムシ		○	○	○	○	○	○					6			○		
153		サンゴジュハムシ		○										1			○		
154		ヒメジンガサハムシ					○							1			○		
155		ルリハムシ					○							1			○		
156	オトシブミ科	ヒメクロオトシブミ			○									2			○		
157	ゾウムシ科	カシワクチブゾウムシ											○	○	2			○	
158		クリシキノゾウムシ						○						1			○		
159		スグリゾウムシ				○								1			○		
160	コガネムシ科	アオドウガネ				○	○	○						3			○		

(4) 自然環境調査結果 昆虫類⑧

目	No	科	種名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	A	B	C	D	
				9日(水)	7日(水)	11日(水)	9日(水)	8日(水)	10日(水)	15日(水)	12日(水)	17日(水)	15日(水)	10日(水)	11日(水)					
コウチュウ目	161	コガネムシ科	カナブン				○	○							◆	3	○	○		
	162		カブトムシ					○									1	○	○	
	163		クワガタムシ				○	○									2	○	○	
	164		コアオハナムグリ						○								1			
	165		コブマルエンマコガネ						○								1			○
	166		シロテンハナムグリ		○		○	○	○								4		○	
	167		ツヤシコガネ		○												1			○
	168		セマダラコガネ				○	○									2	○	○	
	169		ヒゲトハナムグリ		○												1			○
	170		コガネムシ科	マメコガネ				○	○	○							3	○	○	
	171	マルエンマコガネ							○							1			○	
	172	クワガタムシ科	クワガタ													◆	1	○	○	
	173		ノギリクワガタ				○♂	○♂									2	○	○	○
	174		ヒラタクワガタ				○♂										1	○	○	○
12	174	73		174	5	45	16	60	56	57	23	12	16	15	20	19	43	75	80	

自然環境調査結果 昆虫類に関して

- ◆ 2013年度～2014年度【昆虫データー録】から、2014年度分を集計・作成した。
- ◆ 2014年度報告では、新しい【目】の呼称に統一した。
- ◆ 【分類方法】
 - ① 「府中自然報告書」-夏 秋編-(1970年)の分類方法を採用した。
 - ② ①の分類に該当なく新しく確認された(目/科/種名)については、朝比奈正二郎氏「基準昆虫分類表」に準じた。
 - ③ 種名の列挙は、アイウエオ順とした。
- ◆ 【昆虫の生態確認】
 - ① 生態の記号化 卵・卵囊：▲/幼態・蛹：◆/成虫：○/成虫の異常形：●
 - ② 成虫のオス・メスに関して不明の場合は表示しない。はっきりと判別された時は記号で示す。
表示方法 オス：♂/メス：♀
 - ③ 幼態の同定：確認出来ないものは除外した。特に、ガ類・甲虫類に多い。
- ◆ 【過去の資料との対比】
 - ① 「データー表」2013年度・2014年度の確認月数/確認総数を加えた。
☞確認された、昆虫種の変化が容易に読み取れることを目的にした。
 - ② 「2014年・報告」では、A=2014年度・確認月数/B=1970年・報告書に記載/C=1983年・昆虫ガイドブックに記載/D=2014年度・新規確認種を加えた。
☞A～Dの項目を入れたことにより、過去の資料との対比を容易にする。
- ◆ 【参考資料】

① 「府中市自然報告-夏秋編-」1970年	1971年3月府中市教育委員会発行
② 「府中昆虫ガイドブック」	1983年3月府中昆虫ガイドブック編集会編・発行
③ 「武蔵村山市史」資料編・自然	1999年3月武蔵村山市史編さん委員会編・発行
④ 「多摩の昆虫」	1980年3月東久留米市教育委員会編・発行
⑤ 「東大農場・演習林・生きものたちの20年」	2013年3月東大農場・演習林存続を願う会
⑥ 「昆虫観察図鑑」	2011年5月(株)誠文堂新光社発行
⑦ 「甲虫」新装版	2006年6月(株)山と溪谷社発行
⑧ 「フィールドガイド・日本のチョウ」	2012年4月(株)誠文堂新光社発行
⑨ 「東京都の蝶」新版	2012年5月(株)けやき出版発行
⑩ 「庭・畑の昆虫-1-」	1976年8月(株)小学館発行

(4) 自然環境調査結果 鳥類①

			14年度観察数													14年度観察月数	14年度合計	
科目	名称	天気名称	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
			日	9	7	11	9	6	10	15	12	17	14	10	11			
			晴	晴	雨	曇り	晴	曇り	小雨	曇り	晴	晴	晴	晴	晴れ			
9	カモ	カルガモ	軽鴨		2		1									2	3	
20	ハト	キジハト	雉鳩	6	6		4		1		1	4	7	4	2	9	35	
33	カッコウ	ツツリ	筒鳥							1						1	1	
51	幼	ツミ	雀鷹		2				1	1						3	4	
58	キツキ	コケラ	小啄木鳥	5	1	2	3	3		2	1	3		3	3	10	26	
60	キツキ	アオケラ	緑啄木鳥					1				1				2	2	
64	モズ	モズ	百舌											1		1	1	
65	カラス	カケス	檀鳥							1						1	1	
66	カラス	オナガ	尾長	16	15		3	3		3	5	28	1	7	3	10	84	
67	カラス	ハシホソカラス	嘴細鳥														0	
68	カラス	ハシフトカラス	嘴太鳥	4	4	4	6	4	13	6	3	4	4	4	5	12	61	
70	シジュウカラ	ヤマカラ	山雀														0	
72	シジュウカラ	シジュウカラ	四十雀	10	11	11	12	15	7	9	13	8	9	10	13	12	128	
74	ツバメ	ツバメ	燕	1												1	1	
77	ヒヨドリ	ヒヨドリ	鶉	25	23	14	9	13	1	37	22	26	13	6	16	12	205	
78	ウグイス	ウグイス	鶯								1	3	3	2	1	5	10	
79	エナガ	エナガ	柄長	2								6	9	3	5	5	25	
82	メジロ	メジロ	目白	5		1	1	4		7	8	12	11	4	9	10	62	
86	ムクドリ	ムクドリ	椋鳥	1	13					2						3	16	
88	ヒタキ	シロハラ	白腹								1	1	2	1		4	5	
90	ヒタキ	ツグミ	鶉	3								1	2		5	4	11	
92	ヒタキ	ルリヒタキ	瑠璃鶉									1		1		2	2	
93	ヒタキ	ジョウビタキ	尉鶉											2		1	2	
100	スズメ	スズメ	雀														0	
102	セキレイ	ハクセキレイ	白鶺鴒	1								1				2	2	
107	アトリ	カワラヒワ	河原鶉	1												1	1	
111	アトリ	シメ	鴿口											2	1	2	3	
117	ホオジロ	アオジ	青鶉								3		5		2	3	10	
観察種数				28	13	9	5	8	7	5	10	10	14	11	14	12	25	

			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
その他カウント外	ドハト		1								78	1	3	3
	カビチヨウ				1				1	1		1	1	1
	ソウシヨウ													

※今年度より種の確認だけでなく、観察数について記載することとした。

(4) 自然環境調査結果 鳥類②

月	コメント
4	ヒヨドリは渡りに時期で、多くみられた。エナガはつがいで観察出来た。昨年観察出来なかったツバメを観察した。
5	ツミをつがいで観察。武蔵台公園内に営巣している。
6	雨のため観察数が少なかった。ツミは営巣していないようだ。
7	霧雨であり活発な動きはない。樹液を吸うカナブンをついばむハシブトガラスを観察できた。
8	毎回観察できたキジバトが見られなかった。
9	雨上がりのためか、観察数がすくない。昨年も、8、9、10月は観察数が少なかった。
10	ツツリ(雌の赤色型)の渡りを観察できた。 ヒヨドリの渡りを短時間で5回観察。
11	冬鳥が観察出来るようになった。
12	ルビタキ♀を始めて観察した。
1	
2	モズを始めて観察。
3	シジュウカラがさえずり始めた。



ルリビタキ♀



コゲラ♂



ジョウビタキ



ツミ

府中市自然環境調査（平成26年度）報告書

平成27年9月発行

発行 府中市自然環境調査員会議

編集 府中市生活環境部環境政策課自然保護係